

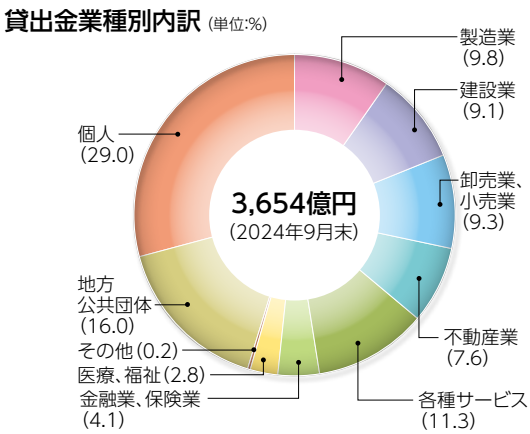
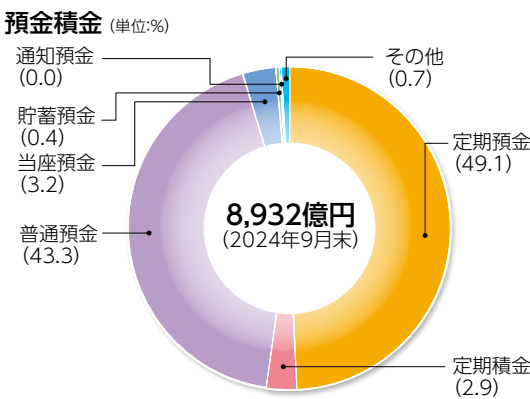
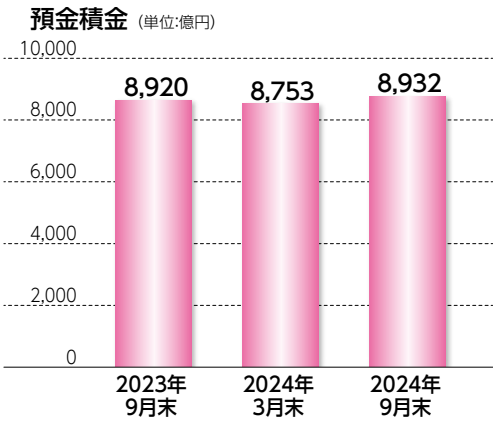
しんきん 2024 上半期レポート

2024年度上半期のご報告
(2024年4月1日～2024年9月30日)

■ 預金積金と貸出金

2024年9月末の預金積金は、個人・法人ともに流動性預金が増加したことから、2024年3月末比178億68百万円増加して8,932億54百万円となりました。

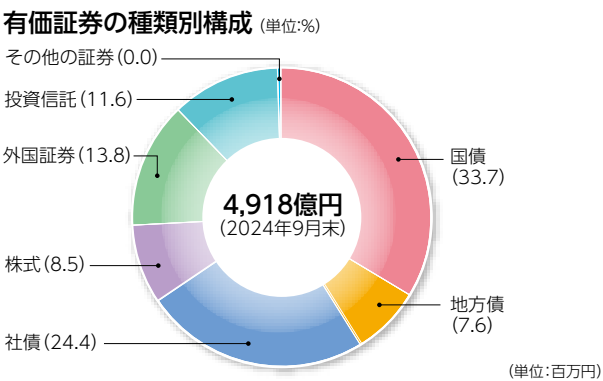
貸出金は、住宅関連融資の増加により、2024年3月末比53億86百万円増加して3,654億3百万円となりました。



■ 有価証券

みなさまからお預かりした大切な預金積金は、貸出金のほかに国債・社債等の有価証券でも運用しています。当金庫は運用にあたり、安全性を重視した方針を堅持しています。

2024年9月末の有価証券は、2024年3月末比7億41百万円増加して4,918億94百万円となりました。



有価証券の状況

保有目的	種類	2024年3月末			2024年9月末		
		取得原価	時価	差額	取得原価	時価	差額
満期保有目的の債券	債券	7,847	7,858	10	9,535	9,533	△ 1
	その他	—	—	—	100	100	0
	小計	7,847	7,858	10	9,635	9,633	△ 1
その他有価証券	債券	315,086	304,426	△ 10,659	329,311	314,980	△ 14,331
	株式	18,494	44,068	25,573	18,449	41,824	23,374
	その他	112,340	134,800	22,459	105,805	125,443	19,638
	小計	445,920	483,295	37,374	453,567	482,249	28,681
子会社	株式	10	10	—	10	10	—
合計		453,778	491,163	37,384	463,212	491,892	28,679

(注) 1. 時価は、決算日における市場価格等に基づいております。
ただし、市場価格のない株式等は、取得原価をもって時価としております。

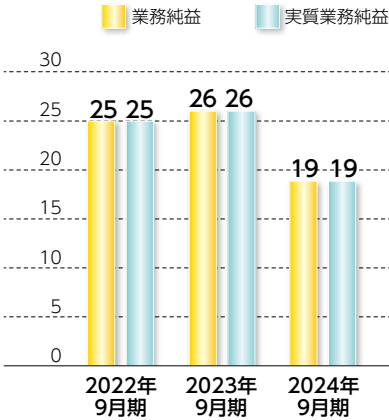
2. 「その他」は、外国証券及び投資信託等です。

■ 収益

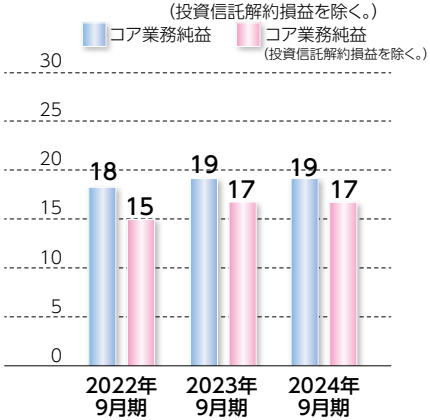
有価証券利息配当金の増加により増収となりましたが、預金金利引き上げの影響や債券売買損益の減少などから、業務純益は前年同期比7億15百万円減少して19億64百万円となりました。

業務純益の減少により経常利益は前年同期比3億4百万円減少し、中間純利益は前年同期比2億25百万円減少して18億13百万円となりました。

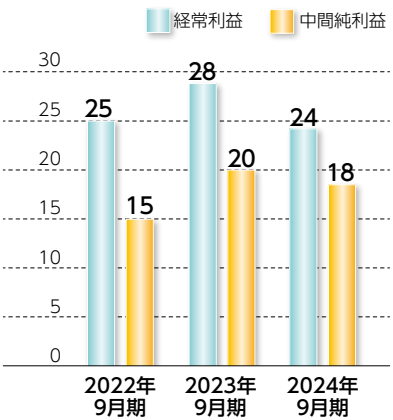
業務純益・実質業務純益 (単位:億円)



コア業務純益・コア業務純益 (単位:億円)



経常利益・中間純利益 (単位:億円)



■ 自己資本比率

自己資本比率は、信用リスク・アセット(リスクがある資産)等に対して自己資本がどれくらいあるかを示す指標で、金融機関の健全性・安全性をみる重要な指標の一つです。国内業務を行う金融機関には4%以上の自己資本比率が求められています。

続き高水準の自己資本比率を維持しています。また、リスクの備えとしての自己資本額は2024年3月末比17億26百万円増加して838億82百万円となりました。そのほとんどがみなさまからの出資金と特別積立金であり、自己資本の質は良好な水準にあります。

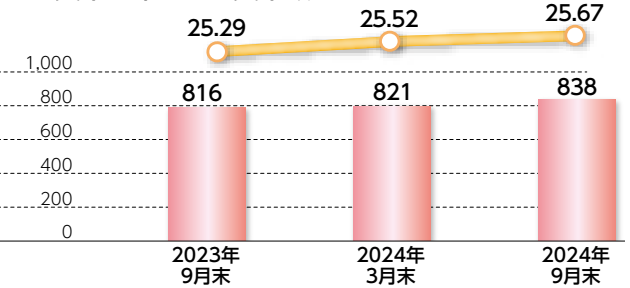
2024年9月末の自己資本比率は25.67%であり、引き

自己資本の構成

(単位:百万円)

	2024年3月末	2024年9月末
自己資本の額	82,156	83,882
コア資本に係る基礎項目の額	82,921	84,614
コア資本に係る調整項目の額	765	731
リスク・アセット等	321,873	326,701
信用リスク・アセット	300,415	305,244
オペレーショナル・リスク相当額の合計額÷8%	21,457	21,457
自己資本比率	25.52%	25.67%

自己資本比率と自己資本額 (単位:億円、%)



■ 不良債権(信用金庫法開示債権及び金融再生法開示債権)

原材料等の価格に加え人件費の高騰が続いており、適正な価格転嫁が難しい地域企業の収益力に影響を及ぼしている状況です。

低下して6.22%となりました。このうち、担保や保証、貸倒引当金などにより198億8百万円が保全されています。また、未保全額は31億17百万円になりますが、特別積立金775億37百万円により十分にカバーされています。

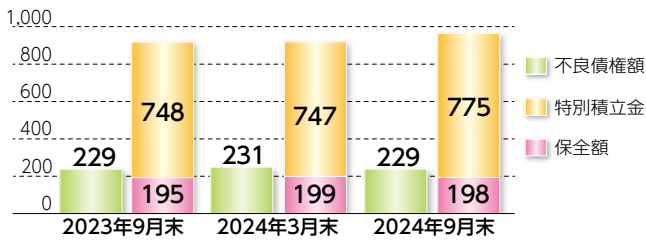
企業再生支援と不良債権の抑制に努め、開示債権額は2024年3月末比2億61百万円減少して229億25百万円となり、総与信残高に占める割合も0.17ポイント

不良債権額

(単位:百万円)

区分	2024年3月末 残高	2024年9月末 残高
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,634	1,158
危険債権	21,060	21,284
要管理債権	491	482
合計	23,186	22,925
正常債権	339,449	345,213
総与信残高	362,636	368,139

不良債権額と保全額 (単位:億円)



2024 年度上半期トピックス

ビジネスフェアを過去最大規模で開催

5月15日に「第21回長野信金ビジネスフェア」をビッグハットで開催しました。

300社・団体が出展、約5000人が来場し、どちらも過去最多となりました。今回から見学参加を北信地域の学校まで広げ、8校の生徒・学生約1000名が訪れました。

また、今年はDX関連の製品をアピールする「DXパフォーマンスゾーン」や、人手不足に直面する企業向けの相談ブースを初めて設けました。

フェア当日の商談件数は831件、今年度の商談成約数は337件、第1回からのビジネスマッチング累計件数は2,434件となっています。



須坂支店内に太子町支店が移転 新店舗にて営業開始

7月8日に建替えが完了した須坂支店内に店舗内店舗として太子町支店が移転しました。店舗内店舗とは、1つの店舗内に複数の営業店が同居し営業を行う方式です。

外観は瓦葺き切妻屋根を採用し街並みとの調和を図りました。より一層お客さまに親しんでいたげのような支店を目指します。



地域貢献活動

ながの祇園祭御祭

7月14日に行われた「ながの祇園祭御祭礼屋台巡行」に18名の職員が参加しました。前日から祇園祭で使われる屋台の組み立て作業をお手伝いし、当日は北石堂町から弥栄神社のルートで巡行しました。



長野養護学校「歩道のペンキ塗り」

交通安全活動の一環として、9月9日に長野養護学校の歩道を緑色に塗るお手伝いをしました。当日はインターンシップの学生を含む5名が当金庫から参加し、長野養護学校の生徒さんとお話しながら歩道を塗りました。



長野信用金庫の概要

(2024年9月30日現在)

創立 : 1923(大正12)年9月1日
本店所在地 : 〒380-8686
長野県長野市居町133番地1
店舗数 : 38本支店
店舗外ATM23カ所
常勤役員数 : 557名
会員数 : 57,053名 本店・本部



インターネットホームページ : <https://www.nagano-shinkin.jp/>
当パンフレットのお問い合わせ先 :
長野信用金庫 総合企画部 電話 : 026-228-0221 (代表)
本誌に記載の比率および金額は原則として単位未満を切り捨てて表示しています。



本誌は、FSC®認証紙を使用し、
環境に配慮した植物油インキを使用しています。

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

しんきんでは、持続可能な社会の実現に向けて、 SDGs の達成に尽力しています。

しんきんは、「SDGs (エスディーゼーズ) 宣言」を、2019年4月25日に公表しました。

SDGsの目標である『持続可能な社会の実現』は、地域活性化に注力しているしんきんのビジョン「“地域愛”を原動力にこの先の成長もみなさまとともに」と合致し、このSDGsを推進することは信用金庫としての責務と考えます。SDGsは17の目標を設定しており、しんきんは、SDGsの目標すべてを当金庫の中期経営計画のビジョンに関連付け、地域の活性化に取り組んでいます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

